


受賞者の声（公開）

氏名	中島 江梨香	
受賞時所属	(所属) 中部大学 工学部	
	(職名) 講師	
現所属	(所属) 中部大学 工学部	
	(職名) 講師	
受賞テーマ名	4次元燃焼状態解析とシステムティックな高分子難燃材料設計	
受賞テーマにおける研究活動の現況		
<p>現在、私は高分子材料の難燃化メカニズムの解明と、それに基づいた高機能な難燃性複合材料の開発に注力しております。本研究テーマに関連し、日本学術振興会の科学研究費助成事業（科研費）に採択され、基礎研究の深化を図っております。</p> <p>また、愛知県の「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」においては、「サーキュラーエコノミーを志向した航空宇宙用超軽量実装部材の開発」に参画しております。私は材料の安全性を担保する要である「難燃化」のパートを担当し、次世代モビリティの軽量化と資源循環の両立を目指した共同研究を推進しております。</p> <p>学術・産業界への貢献としましては、一般社団法人難燃材料研究会の運営委員を拝命し、日本の材料産業の活性化と技術交流の促進に努めております。国際的には、欧州の難燃研究者との共同研究や緊密な連携を進めており、その集大成として、2026年9月には日本初開催となる難燃分野の国際会議「PACMA 2026」を主催いたします。（HP：https://pacma2026.com/）本会議には欧州をはじめ世界各国の主要な研究者が多数来訪予定であり、日本から世界へ最新の知見を発信するプラットフォームの構築を目指しています。</p>		
今後における研究活動の展望		
<p>今後は、これまでに蓄積してきた材料知見に、マテリアルズ・インフォマティクス（MI）や実験自動化技術などのデータ駆動型アプローチを融合させ、経験や勘に頼らない「システムチックかつ高効率な材料開発プロセス」の確立を加速させます。これにより、複雑な要求性能を持つ難燃材料の開発期間を大幅に短縮し、最適な材料設計を迅速に導き出す理論的基盤を構築してまいります。日本有数の産業のハブであり、自動車や航空宇宙、次世代エネルギーといった広範なものづくり産業が集積する愛知県において、この高効率な開発手法を展開することは極めて大きな意義があると考えております。地域の基幹産業のニーズに即応した革新的な難燃化ソリューションを提供し、愛知県から世界をリードする安全で持続可能な材料イノベーションを創出していく所存です。</p>		
受賞後の反響・各賞の受賞等		
<p>本賞の受賞後、学内公報や学会ネットワークを通じて多くの反響をいただき、異分野の研究者や地元企業から共同研究に関する具体的な相談が寄せられるようになりました。これらの評価を糧に、研究の社会還元に対する責任感をいっそう強くしております。</p>		

わかしゃち奨励賞への期待

「わかしゃち奨励賞」は、若手研究者の独創的なアイデアに光を当て、社会実装への架け橋となる極めて貴重な機会だと感じております。特に、愛知県という強力な産業基盤を背景に、研究成果を速やかに産業界へ繋げられる仕組みは、研究者にとって大きな励みとなります。今後も本賞が、次世代を担う研究者たちの挑戦を後押しし、愛知から世界を驚かせるような新技術が次々と誕生する源泉であり続けることを切に願っております。